

総務省、厚生労働省を訪問し、10区連名の 「同性パートナーに関する権利や制度等の 検討を求める要望書」を直接手渡しました。

本日午前、杉並区長、港区長、品川区長、中野区長の4名が総務省と厚生労働省を訪れ、同性パートナーに関する各種社会保障制度等の改正の検討、当事者間の関係をより適切に反映した住民票の続柄の新たな表記の設定を求める要望書を提出しました。総務省では阿部知明自治行政局長へ、厚生労働省では朝川知昭厚生労働省政策統括官へ直接手渡しました。



左から酒井区長、森澤区長、朝川厚生労働省政策統括官、岸本区長、清家区長



岸本聡子杉並区長は「10区連名で要望を出せたことをうれしく思う。この動きが全国的に広がってほしい。基礎自治体は直接住民に向き合う立場にいる。同性パートナーを含めたすべての人たちに寄り添っていきたい。」と述べました。

提出者：清家 愛 港区長、森澤 恭子 品川区長
酒井 直人 中野区長、岸本 聡子 杉並区長

【報道機関 問い合わせ先】

区民課：03-3312-2111 内線1102

秘書課：03-3312-2111 内線1442

広報課報道係：03-3312-2111 内線1502